

## 神奈川県立常民文化研究所論集 29 『歴史と民俗』 29

### ●2013年2月発行予定

#### <特集>漁業の歴史と民俗

- ・特集「漁業の歴史と民俗」の紹介と見解（田島佳也）
- ・安芸灘のボラ地曳網漁（川島秀一）
- ・海を越える太地の一世紀（櫻井敬人）
- ・近世瀬戸内「浦」社会の諸相（山本秀夫）
- ・近世琵琶湖の漁業と漁村—堅田漁師を事例に—（鎌谷かおる）

#### <講座>

- ・第15回常民文化研究講座「オーラルヒストリーの可能性—歴史学と民俗学との対話」のねらい（森 武磨）
- ・「沖縄戦と米軍占領のオーラルヒストリー—証言をどう読みとるか—」

- 「事実と真実の敵なり」ドンキ・ホーテ（石原昌家）
- ・復帰と反復帰・覚え書—川満信一と『発想』の位置（安田常雄）
- ・綱引行事の消滅と復活からみた歴史と民俗—沖縄県宜野湾市の事例から—（小熊 誠）
- ・コンタクト・ゾーンとしての占領地沖縄（泉水英計）

#### <一般論考>

- ・海辺の家に伝わった書籍群—気仙沼大島村上家旧蔵書籍群について—（橋川俊忠）

#### <資料紹介>

- ・閩劇脚本『陳靖姑』翻訳之一（廣田律子）
- ・駿河伊達氏の末裔「津山松平家臣伊達家文書」の考察（鈴木江津子）

## 『歴史民俗資料学研究』 18号

### ●2013年3月発行予定 A5版

#### ●発行：神奈川県立常民文化研究所

#### ●内容（予定）

- ・若狭・日向区の漁村町にみる長床—暮らしから祈る・祀る・舞いの伝承（白井正子）
- ・長崎県生月島西部地区のかくれキリシタン—唄おらしょの音楽的研究—（小泉優莉菜）
- ・「庭」の変化から民俗行事及び農業認識の変遷を解析する—山東省臨

- 沂市平邑県武台鎮水溝三村を事例に—（王新艶）
- ・二所詣の参詣形態から探る鎌倉幕府の宗教観念（矢田美保子）
- ・済州島における立春儀礼の現行民俗（金泰順）
- ・養蚕業の信仰（小林公子）
- ・スサノオノミコトに関する日本のお祭りについて（姚涼）
- ・黒澤明における原爆と原発（半澤健市）
- ・人はなぜ助産院で子どもを産むのか—管理される出産からの解放—神奈川県川崎市中原区の助産院を事例に—（田中美紀子）

## 第1回アジア都市フォーラム

### The Status and Prospect of the Asian Urban

#### Panel's Topics1: Urban Studies and Humanities

#### Panel's Topics2: Migration and Asian Cities

※Panel's Topics2は、非文字資料研究センター公開研究会「移民都市『上海』の諸相—メディア、歴史、文学」として開催されます。

#### ●日時：2013年5月（日程は未定）

#### ●場所：ソウル市立大学都市人文学研究所 大会議室

#### ●内容（予定）

- 1 「上海の商品広告と商業画家について」 李培徳（香港大学）
- 2 「日清戦争以降の上海の日本語新聞—『上海日報』について」 孫安石（神奈川大学）
- 3 「南薫造『従軍日記』の図版検証—戦前絵葉書を素材に—」 彭国躍（神奈川大学）
- 4 「戦時上海における『上海婦女』言説のジェンダー考察」 石川照子（大妻女子大学）
- 5 「上海と周作人の文学について」 中村みどり（早稲田大学）
- 6 「現代都市住民の伝統への追求」 钱杭（上海師範大学）
- 7 「中国の都市化過程と都市文化の研究」 杨剑龙（上海師範大学）
- 8 「現代上海の下層少年の社会教育とNPOの役割」 彭善民（上海師範大学）

#### ●フォーラム・スケジュール

- 1 日目：レジストレーション
- 2 日目（午前）：全体セッション
- 2 日目（午後）：パネル・ディスカッション
- 3 日目（午前）：円卓会議と閉会式
- 3 日目（午後）：市内見学（オプション）

主催：神奈川県立常民文化研究所・上海師範大学都市文化研究センター・ソウル市立大学都市人文学研究所

お問合せ先：外国語学研究所中国言語文化専攻 孫安石

TEL (045) 481-5661（内線4524）

※内容は変更される場合がございます。

## 表紙紹介

表紙に掲載された写真は、共同研究「海外神社跡地から見た景観の持続と変容」班が公開展示として2012年12月11日～20日にかけて開催した稲宮康人氏の写真展「帝国後 海外神社跡地の景観変容」のうち一枚で、台湾の台中神社跡地（第1次）の台中公園の写真である。南方系の樹木に囲まれた公園の一面に、台中神社の旧鳥居の石材が、鳥居があたかも転倒したかのように並べられている。鳥居を遊具のように飛び跳ね遊ぶ子供たちは鳥居の本来の意味などまるで考えてないようである。

るとはいえ、見守る大人には別の思いがあるのかもしれない。

一方、跡地写真に添えられた古写真は神社時代の様相を示す絵葉書である。日傘をさして参拝する和服の後ろ姿の婦人を中央に、大きな石造鳥居、参道両側に林立する石灯笼、奥には社殿がみえる。人力車なども写っており当時の様相を伺い知ることができる。

なお、稲宮康人氏の写真展「帝国後 海外神社跡地の景観変容」の様子については次号で紹介する予定である。

## 非文字資料研究 No.29

発行日 2013年1月31日発行

編集・発行 神奈川県立常民文化研究所 非文字資料研究センター

Research Center for Nonwritten Cultural Materials,  
Institute for the Study of Japanese Folk Culture, Kanagawa University

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1

■Tel.045-481-5661 ■Fax.045-491-0659 ■URL <http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/>

